



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5463 URL http://www.maruichikokan.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼CEO(氏名) 鈴木 博之
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長(氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	37,300	18.3	6,093	12.8	6,630	14.6	4,432	278.4
29年3月期第1四半期	31,541	△14.8	5,399	69.1	5,784	52.8	1,171	△64.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 4,405百万円(-%) 29年3月期第1四半期 △1,111百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第1四半期	53	57	53	51
29年3月期第1四半期	14	16	14	14

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	309,116		258,608			80.3
29年3月期	306,453		259,223			81.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 248,346百万円 29年3月期 248,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	25.00	—	59.50	84.50	
30年3月期	—					
30年3月期(予想)		25.00	—	57.50	82.50	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	75,000	14.0	10,800	△11.6	11,700	△9.0	7,500	7.2	90	64
通期	154,300	12.4	22,300	△9.0	23,500	△10.3	16,100	△9.1	194	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	94,000,000株	29年3月期	94,000,000株
30年3月期1Q	11,256,111株	29年3月期	11,255,822株
30年3月期1Q	82,744,065株	29年3月期1Q	82,744,623株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い内外需や雇用環境の改善などを背景に景気回復基調が維持されました。一方、海外では、米国経済が雇用情勢の安定を受け概ね堅調に推移し、中国経済も政府の景気挺入れを背景に持ち直しの動きを続けているものの、国際政治動向や地政学的リスクなどから、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

鉄鋼業界は、国内需要は鉄鋼需要産業の関連指標も上昇する中で回復基調にあり、パイプ業界も数量ベースでは前年を上回る基調となりました。海外も緩やかな鋼材需要の回復があるものの、保護主義的な動きや各地での通商問題への懸念などから、一段と先行き不透明な状況になっております。

(日本)

国内事業につきましては、建材を中心に販売数量は前年同期比増加いたしました。一方、販売単価面で前年度末に大幅に値上がりとなった材料コイルの製品価格への値上げ転嫁は未達の状態にありますが、売上高は数量増と単価アップにより、235億8千3百万円（前年同期比15.7%増）と増収になりました。セグメント利益は、数量増に伴うコストダウンや生産効率の向上などから、49億8千1百万円（前年同期比12.8%増）と増益になりました。

(北米)

北米事業につきましては、販売数量は前年同期比若干減少したものの販売単価上昇により、売上高は69億2千万円（前年同期比18.2%増）と増収になりました。鋼材価格の上昇局面の中で、製品価格への材料コストアップの転嫁と採算を重視した販売によりスプレッドの前年比改善が図れたことから、セグメント利益は6億5千3百万円（前年同期比38.6%増）と増益になりました。

(アジア)

アジア事業につきましては、販売数量の前年同期比増加と材料高による販売単価上昇により、売上高は67億9千6百万円（前年同期比28.3%増）と増収になりました。一方、セグメント利益は3億8千4百万円（前年同期比23.6%減）と減益になりました。これは、インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッド（KUMA社）では、インド国内の4輪&2輪向け販売が好調で増益を確保いたしました。ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）では、ベトナム国内市場の競争激化と輸出市場の輸入制限措置拡大等からスプレッドが悪化し減益となったことによります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は373億円（前年同期比18.3%増）、営業利益は60億9千3百万円（同12.8%増）、経常利益は66億3千万円（同14.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億3千2百万円（同278.4%増）となりました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル113円64銭であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

総資産は、前年度比26億6千3百万円増加し3,091億1千6百万円となりました。

流動資産は、15億6百万円増加し1,546億円となりました。主な増減要因は、譲渡性預金の設定などから有価証券が139億2千2百万円増加した一方、現金及び預金が181億6千5百万円減少しました。また、受取手形及び売掛金が16億4千4百万円、製品が8億2千1百万円、原材料及び貯蔵品が23億3千4百万円増加しました。

固定資産は、11億5千6百万円増加し1,545億1千6百万円となりました。不動産売却や減価償却などから有形固定資産が17億7千9百万円減少し、株価回復などから投資有価証券が29億1千9百万円増加したことによります。

負債は、32億7千8百万円増加し505億7百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が32億7千9百万円増加したことなどによります。

純資産につきましては、6億1千4百万円減少し2,586億8百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を44億3千2百万円確保しましたが、配当金の支払が49億2千3百万円あったことなどによります。

(3) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、政府の経済対策の効果などから、企業の収益環境や雇用・所得環境の改善が持続することで、国内景気は引き続き緩やかな回復が続くものと見込まれます。海外経済も緩やかな回復を維持する見込みであるものの、米国政権の動向や地政学的リスクが下押し圧力となる懸念も想定されます。当社といたしましては、第4次中期経営計画の最終年度として主要施策の着実な実行を進めてまいります。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、建築向け製品を中心に需要の増加が見込まれます。一方、製品価格への材料値上げの転嫁が足元未達の状況の中で、仕入コイルの追加の値上げ圧力が強く、スプレッドの悪化拡大が懸念されます。新規開拓も含めた需要の取込みの工夫をするとともに、原材料コイルの値上げを製品に転嫁すべく引き続き取り組んでまいります。

(北米)

北米事業につきましては、現在、鋼材価格の変動が大きく不安定な市況に直面しているとともに、トランプ政権による通商問題（通商拡大法232条の発動）いかんでは国内鋼材価格の値上がりが懸念される状況ですが、北米3拠点の連携強化を図りながら、収益の確保に努めてまいります。また、メキシコのマルイチメックスS.A. de C.V. (Maruichimex社)では自動車向け鋼管販売が、徐々にではありますが増えており、切断体制強化などの対応をしてまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、鋼管の製造体制が整ったこともあり、高品質な製品を供給することで、ベトナム国内及び近隣国への販売体制の強化を図りシェア拡大に取り組んでまいります。米国の通商拡大法の発動いかんではアジア地域の鉄鋼マーケットが混乱する懸念が強く、事態を注視しております。インドのKUMA社では、新設した径の大きい4インチの薄肉造管機により、大型車の排ガス規制に対応した排気管の需要拡大への対応に努めてまいります。

この様な見通しのもと、平成30年3月期の連結業績予想は、前回（平成29年5月10日）の公表値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	88,498	70,333
受取手形及び売掛金	32,981	34,625
有価証券	5,727	19,650
製品	8,296	9,118
原材料及び貯蔵品	14,434	16,768
その他	3,182	4,132
貸倒引当金	△27	△28
流動資産合計	153,093	154,600
固定資産		
有形固定資産		
土地	32,522	32,428
その他	50,445	48,759
有形固定資産合計	82,967	81,188
無形固定資産		
のれん	751	701
その他	1,152	1,225
無形固定資産合計	1,903	1,926
投資その他の資産		
投資有価証券	65,469	68,388
その他	3,018	3,012
投資その他の資産合計	68,487	71,401
固定資産合計	153,359	154,516
資産合計	306,453	309,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,975	20,255
短期借入金	6,866	7,149
未払法人税等	3,236	2,030
賞与引当金	930	438
役員賞与引当金	68	53
その他	5,084	7,228
流動負債合計	33,162	37,157
固定負債		
長期借入金	5,898	4,941
役員退職慰労引当金	52	55
退職給付に係る負債	3,188	3,093
繰延税金負債	4,703	5,031
その他	224	228
固定負債合計	14,067	13,350
負債合計	47,229	50,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	239,684	239,193
自己株式	△26,965	△26,965
株主資本合計	238,136	237,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,739	11,561
為替換算調整勘定	9	△779
退職給付に係る調整累計額	△108	△80
その他の包括利益累計額合計	10,640	10,701
新株予約権	144	144
非支配株主持分	10,301	10,117
純資産合計	259,223	258,608
負債純資産合計	306,453	309,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	31,541	37,300
売上原価	23,118	28,088
売上総利益	8,423	9,212
販売費及び一般管理費	3,023	3,119
営業利益	5,399	6,093
営業外収益		
受取利息	32	23
受取配当金	294	426
持分法による投資利益	160	111
不動産賃貸料	136	153
その他	134	82
営業外収益合計	759	797
営業外費用		
支払利息	71	55
為替差損	207	78
不動産賃貸費用	66	91
その他	28	33
営業外費用合計	374	260
経常利益	5,784	6,630
特別利益		
固定資産売却益	11	221
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	11	222
特別損失		
固定資産除却損	8	6
投資有価証券売却損	—	5
投資有価証券評価損	2,586	—
その他	0	0
特別損失合計	2,596	12
税金等調整前四半期純利益	3,200	6,840
法人税等	1,840	2,242
四半期純利益	1,359	4,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	166
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,171	4,432

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,359	4,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,005	671
為替換算調整勘定	△2,152	△1,081
退職給付に係る調整額	7	13
持分法適用会社に対する持分相当額	679	202
その他の包括利益合計	△2,470	△193
四半期包括利益	△1,111	4,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△705	4,493
非支配株主に係る四半期包括利益	△405	△88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,389	5,853	5,297	31,541	—	31,541
セグメント間の 内部売上高又は振替高	434	—	—	434	△434	—
計	20,824	5,853	5,297	31,976	△434	31,541
セグメント利益	4,417	471	502	5,392	7	5,399

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,583	6,920	6,796	37,300	—	37,300
セグメント間の 内部売上高又は振替高	28	—	—	28	△28	—
計	23,612	6,920	6,796	37,329	△28	37,300
セグメント利益	4,981	653	384	6,019	74	6,093

(注) 1. セグメント利益の調整額74百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。